

M & Aにおけるレプワラ保険を活用した リスク回避のポイント

～注目を集めるレプワラ保険について企業が押さえておくべき、
特長、メリット、留意点、加入のタイミング、加入判断のポイント～

■日 時■ 2017年 4月20日(木) 10:00～12:00

■会 場■ 企業研究会セミナールーム(東京・麹町)

■講 師■ アンダーソン・毛利・友常法律事務所 パートナー 弁護士 十市 崇氏

十市崇氏【講師紹介】平成9年司法試験合格。平成10年慶應義塾大学法学部卒業。平成12年弁護士登録と同時にアンダーソン・毛利法律事務所(現アンダーソン・毛利・友常法律事務所)入所。平成17年米国Columbia University School of Law(LL.M.)卒業。平成18年ニューヨーク州弁護士登録。平成18年英国London Business School(MSc in Finance)卒業。平成20年同事務所パートナー就任。第二東京弁護士会所属。M&Aや企業法務に関する論文・講演多数。

◆ 開催にあたって

近年、成長戦略の重要な選択肢のひとつとしてM&Aを活用する企業が増えています。それに付随して、レプワラ保険(表明保証保険)へ大きな注目が集まっています。レプワラ保険を有効活用することにより、M&Aにおけるリスクを軽減させ、優位性のある交渉を実現することが可能ですが、むやみに加入するのではなく、そのポイントを押さえておくことが重要です。

本セミナーでは、レプワラ保険の現状と特長を解説したうえで、メリットや考慮すべきポイント、実務に即した活用のポイントを解説します。

《プログラムは裏面をご覧ください》

●受講料●1名(税込み、資料代含む)

| | | |
|-----|---------|--------------|
| 正会員 | 16,200円 | 本体価格 15,000円 |
| 一般 | 19,440円 | 本体価格 18,000円 |

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。

●お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますので、お申込者をご出席できない場合には、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人企業研究会

担当：倉島 E-mail: kurashima@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町5-7-2 2F

TEL 03-5215-3515 FAX 03-5215-0951

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ(<http://www.bri.or.jp>)からもお申込みいただけます。
*FAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

| | | |
|----------------------------------|------|-----------|
| 171048-0301 | ※ | 2017.4.20 |
| 申込書 M&Aにおけるレプワラ保険を活用したリスク回避のポイント | | |
| 会社名 | フリガナ | |
| 住所 | 〒 | |
| ご氏名 | フリガナ | 所属 役職 |
| TEL | FAX | |
| E-mail | | |

*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

M & Aにおけるレプワラ保険を活用した リスク回避のポイント

～注目を集めるレプワラ保険について企業が押さえておくべき、
特長、メリット、留意点、加入のタイミング、加入判断のポイント～

4月20日(木)

● プログラム ●

10:00

1. レプワラ保険をめぐる現状と特長
 - 1) レプワラ保険の重要性と現状
 - ・レプワラ保険が注目を集める背景
 - ・企業がレプワラ保険について押さえておくべきポイント
 - 2) レプワラ保険の特長
 - ・バイサイド
 - ・セルサイド
2. レプワラ保険のメリットと考慮すべきポイント
 - 1) メリット
 - ・クリーンエグジット
 - ・競争入札における優位性のある提案（入札力の強化）
 - ・リスク分担を管理することによる交渉期間の短縮
 - ・売主との良好な関係維持
 - 2) 考慮すべきポイント
 - ・カバーできる補償の範囲
 - ・価格
3. M & Aの実務に即したレプワラ保険の活用のポイント
 - 1) どの段階で、レプワラ保険の加入を検討すべきか
 - 2) 加入すべきか、否かの判断のポイント
 - 3) デューデリジェンスとレプワラ保険の関係と留意点

12:00